

平成30年度社会福祉施設等整備方針

・ 地域福祉課所管施設	1
救護施設		
・ 長寿介護課所管施設	3
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設、養護老人ホーム		
・ 障がい福祉課所管施設	7
障がい福祉サービス事業所等		
・ 少子化対策課所管施設	11
児童館		
・ 子育て支援課所管施設	13
放課後児童クラブ室、児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、児童家庭支援センター		

平成30年度社会福祉施設等整備方針(地域福祉課所管施設)

課名〔地域福祉課〕

1 整備方針策定の考え方

- 生活保護法で規定されている保護施設(救護施設)の新規施設整備については、原則として行わない。

2 整備方針

施設種別	圏域	現 状	課 題	平成30年度整備方針
救護施設	全県	・ 県内 3か所 ・ 定員 計 260名 平成29年5月1日現在	—	入所者等の安全確保に必要な改築等があれば整備を進める。

平成30年度社会福祉施設等整備方針（長寿介護課所管施設）

課名〔長寿介護課〕

1 整備方針策定の考え方

- 施設利用者数の見込みや市町の意向等を踏まえつつ、施設サービスを必要とする高齢者が円滑に入所できるよう、老人保健福祉施設の整備を進める。
- 在宅要介護高齢者の施設サービスへのニーズの高まりを踏まえ、特別養護老人ホームと介護老人保健施設を優先的に整備する。
- 県補助を受けずに、特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設を整備する場合についても審査の対象とする。
- 圏域については、別表「老人福祉圏域」のとおりとする。

2 整備方針

施設種別	圏域	課題	平成30年度整備方針
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	圏域別	1 入所申込者が依然として多数に上るため、整備を進める必要がある。 2 利用者一人ひとりの個性や生活のリズムを尊重したユニットケアを推進するため、ユニット型施設の整備を進める必要がある。	1 圏域ごとに平成30年度整備可能数の範囲内とする。 2 整備に当たっては、ユニット型施設を基本とし、地域の実情に応じて、市町の意見を聞いたうえで従来型施設を整備する場合は、圏域ごとの従来型施設整備可能数の範囲内とする。

現状と整備可能数（単位：人分）

	北勢圏域	中勢伊賀圏域	南勢志摩圏域	東紀州圏域	合計	備考
既整備数	2,798	2,702	2,885	592	8,977	市町における整備対象となる小規模（定員29人以下）の特別養護老人ホームの定員数は含まない。
平成29年度整備予定数	120	160	40	0	320	
小計 (A)	2,918	2,862	2,925	592	9,297	
平成30年度整備可能数 (B) (うち従来型施設整備可能数)	30 (0)	110 (30)	340 (100)	40 (10)	520 (140)	
平成30年度末整備予定数 (A) + (B)	2,948	2,972	3,265	632	9,817	

施設種別	圏域	課題	平成30年度整備方針					
介護老人 保健施設	圏域別	<p>1 在宅復帰支援と在宅生活支援という重要な役割を担うことから、計画的に整備を進める必要がある。</p> <p>2 利用者一人ひとりの個性や生活のリズムを尊重したユニットケアを推進するため、ユニット型施設の整備を進める必要がある。</p>	<p>1 圏域ごとに平成30年度整備可能数の範囲内とする。</p> <p>2 整備に当たっては、ユニット型施設を基本とし、地域の実情に応じて、市町の意見を聞いたうえで従来型施設を整備する場合は、圏域ごとの従来型施設整備可能数の範囲内とする。</p> <p>* 増築による整備については、県補助の対象外とする。</p>					
現状と整備可能数（単位：人分）								
			北勢圏域	中勢伊賀圏域	南勢志摩圏域	東紀州圏域	合計	備考
既整備数			2,562	1,783	2,064	358	6,767	
平成29年度整備予定数			0	0	0	0	0	
小計 (A)			2,562	1,783	2,064	358	6,767	
平成30年度整備可能数 (B)			0	110	0	20	130	
(うち従来型施設整備可能数)			(0)	(50)	(0)	(0)	(50)	
平成30年度末整備予定数 (A) + (B)			2,562	1,893	2,064	378	6,897	
介護老人 ホーム	—	老朽化した施設について、緊急度を勘案のうえ整備を進める必要がある。	老朽化した施設について、緊急度を勘案のうえ改修又は改築による整備を進める。					

3 その他

療養病床から介護老人福祉施設等への転換については、当整備方針の別枠とする。

特別介護老人ホームの施設整備については、創設・増築分を優先し、圏域ごとの整備可能数に余裕がある場合に限り、その範囲内において、特別介護老人ホームに併設されたショートステイの特養転換について別途募集・審査するものとする。

(別表) 老人福祉圏域

平成29年4月1日現在

圏域名	圏 域 内 市 町
北勢	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市 木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町
中勢伊賀	津市、名張市、伊賀市
南勢志摩	伊勢市、松阪市、鳥羽市、志摩市 多気町、明和町、大台町、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町
東紀州	尾鷲市、熊野市 紀北町、御浜町、紀宝町

平成30年度社会福祉施設等整備方針（障がい福祉課所管施設）

課名〔障がい福祉課〕

1 整備方針策定の考え方

- 障がいの有無に関わらずお互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現をめざし、みえ障がい者共生社会づくりプランをふまえ、障がい者関係施設の整備を進める。
- 地域生活への移行および地域生活の支援の観点から、日中活動系サービスや共同生活援助を実施する事業所を優先し、みえ障がい者共生社会づくりプランにおける障害福祉サービスの必要量の見込みや障害保健福祉圏域の整備状況等を総合的に判断し整備する。
- 減災対策を推進する観点から耐震化や安全を損なう老朽化に対する大規模修繕等を促進するとともに、防犯対策の強化を図る観点から防犯カメラの設置等の安全対策を促進する。
- 圏域については、別表1「障害保健福祉圏域」のとおりとする。

2 整備方針

施設種別	圏域	現状	課題	平成30年度整備方針
共通	—	—	<ol style="list-style-type: none"> 障がい者が、重度であっても、地域で安心して生活できる支援体制を整備する必要がある。 施設の耐震化や防火対策を推進する観点から、障害福祉サービス事業所の耐震化やスプリンクラー整備等に対応する必要がある。また、施設の防犯対策の強化を図る観点から、防犯カメラの設置等を促進する必要がある。 	<ol style="list-style-type: none"> 障害者支援施設や精神科病院から地域生活へ移行する障がい者および、強度行動障がいや医療的ケアが必要な障がい者などの重度障がい者の地域生活を支える日中活動系サービスや共同生活援助を実施する事業所を優先する。 地域生活への移行、相談および地域の体制づくりなどの機能を集約した地域生活支援拠点となる共同生活援助や短期入所を実施する事業所ならびに、児童発達支援などの障害児通所支援を総合的に提供し、障がい児支援の中核となる機能を有する事業所を優先する。 災害時に倒壊等の危険性のある建物の耐震化を図る施設、消防法施行令等の改正にともない新たにスプリンクラー設置が義務づけられた施設のスプリンクラー整備および、著しい老朽化による大規模修繕を行う施設を優先する。 施設の防犯対策の強化を図るため、防犯カメラの設置等の安全対策を行う施設を優先する。
日中活動系サービス事業所	別表1のとおり	別表2のとおり	障がい者の地域生活を支援するとともに、みえ障がい者共生社会づくりプランにおけるサービス見込量を確保するため、日中活動系サービス事業所の整備を進める必要がある。	<ol style="list-style-type: none"> みえ障がい者共生社会づくりプランのサービス見込量を考慮し、サービス提供が不足する圏域の整備を優先する。また、地域における居住支援の充実を図るため、短期入所を併設する事業所を優先する。 災害時における被災障がい者に対する避難所としての機能を有する施設整備を優先する。

施設種別	圏域	現状	課題	平成30年度整備方針
居住系サービス事業所	別表1のとおり	別表2のとおり	障がい者の地域生活を支援するとともに、みえ障がい者共生社会づくりプランにおけるサービス見込量を確保するため、共同生活援助事業所の整備を進める必要がある。	1 共同生活援助を実施する事業所を整備することとし、みえ障がい者共生社会づくりプランのサービス見込量を考慮し、サービス提供が不足する圏域の整備を優先する。また、地域における居住支援の充実を図るため、短期入所を併設する事業所を優先する。 2 住宅地と同程度に利用者家族、地域住民との交流が確保される地域に設置する施設とする。
訪問系サービス事業所および相談支援事業所	別表1のとおり	別表2のとおり	障がい者が自ら選ぶ生活の場において、安心して暮らすことができるよう、訪問系サービスおよび、計画相談をはじめとする相談支援を充実する必要がある。	みえ障がい者共生社会づくりプランのサービス見込量を考慮するとともに、日中活動系サービスなどの施設整備にあわせて整備する施設を優先する。

3 その他

次の諸点に該当する整備事業とする。

- ・ 障害福祉サービスの提供方針、利用者の状況、指定基準、資金計画等を十分検討し、中長期的視点を含め着実に事業が実施できると考えられる施設。
- ・ 障がい者の地域社会との日常的な交流や防災・減災対策における配慮がなされている施設。

(別表1) 障害保健福祉圏域

平成29年4月1日現在

圏域名	圏域内市町
桑名員弁	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町
四日市	四日市市、菰野町、朝日町、川越町
鈴鹿亀山	鈴鹿市、亀山市
津	津市
松阪多気	松阪市、多気町、明和町、大台町
伊勢志摩	伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町
伊賀	名張市、伊賀市
紀北	尾鷲市、紀北町
紀南	熊野市、御浜町、紀宝町

(別表2) 障害福祉サービス事業所等の現状

種類	種類	単位	平成 29 年度									
			桑名 員弁	四日市	鈴鹿 亀山	津	松阪 多気	伊勢 志摩	伊賀	紀北	紀南	計
日中活動系サービス												
生活介護	現状	事業所数	13	30	17	34	23	21	19	4	4	165
	サービス見込量	人	448	818	547	622	551	644	424	133	141	4,328
	サービス量実績	人	418	722	510	636	506	591	392	120	130	4,025
	見込量と実績の差	人	30	96	37	△ 14	45	53	32	13	11	303
就労移行支援	現状	事業所数	3	5	6	5	2	8	6	1	0	36
	サービス見込量	人	29	73	48	49	9	51	45	6	3	313
	サービス量実績	人	26	62	40	37	15	42	28	4	2	256
	見込量と実績の差	人	3	11	8	12	△ 6	9	17	2	1	57
短期入所	現状	事業所数	11	13	9	18	11	9	12	1	2	86
	サービス見込量	人	128	174	95	92	88	133	115	21	12	858
	サービス量実績	人	92	155	102	102	90	96	97	13	11	758
	見込量と実績の差	人	36	19	△ 7	△ 10	△ 2	37	18	8	1	100
児童発達支援	現状	事業所数	6	12	11	21	8	7	5	1	1	72
	サービス見込量	人	89	191	153	110	199	108	66	10	23	949
	サービス量実績	人	31	141	203	194	145	136	75	0	22	947
	見込量と実績の差	人	58	50	△ 50	△ 84	54	△ 28	△ 9	10	1	2
居住系サービス												
共同生活援助	現状	事業所数	15	12	9	28	15	9	12	2	3	105
	サービス見込量	人	211	259	148	229	202	203	190	45	48	1,535
	サービス量実績	人	137	236	118	227	176	177	184	40	49	1,344
	見込量と実績の差	人	74	23	30	2	26	26	6	5	△ 1	191
訪問系サービス												
居宅介護、重度訪問 介護、同行援護、行 動援護、重度障害者 等包括支援	現状	事業所数	52	89	69	99	123	89	62	16	38	637
	サービス見込量	人	309	359	292	393	478	327	269	91	68	2,586
	サービス量実績	人	216	352	241	396	388	311	322	70	55	2,351
	見込量と実績の差	人	93	7	51	△ 3	90	16	△ 53	21	13	235

種類	種類	単位	平成 29 年度									
			桑名 員弁	四日市	鈴鹿 亀山	津	松阪 多気	伊勢 志摩	伊賀	紀北	紀南	計
相談支援												
計画相談支援	現状	事業所数	16	22	16	33	18	22	11	2	11	151
	サービス見込量	人	177	374	244	500	386	466	199	46	49	2,441
	サービス量実績	人	205	256	220	260	268	331	220	61	46	1,867
	見込量と実績の差	人	△ 28	118	24	240	118	135	△ 21	△ 15	3	574
地域移行支援	現状	事業所数	1	3	2	6	2	8	3	2	1	28
	サービス見込量	人	10	7	8	12	13	11	11	2	3	77
	サービス量実績	人	1	0	0	0	1	0	1	0	0	3
	見込量と実績の差	人	9	7	8	12	12	11	10	2	3	74
地域定着支援	現状	事業所数	1	1	2	6	2	8	3	2	1	26
	サービス見込量	人	9	4	8	23	7	9	3	3	3	69
	サービス量実績	人	3	7	2	0	5	1	0	0	0	18
	見込量と実績の差	人	6	△ 3	6	23	2	8	3	3	3	51
計画相談支援 (障がい児)	現状	事業所数	15	11	11	20	16	20	5	2	7	107
	サービス見込量	人	29	57	72	141	100	102	32	4	5	542
	サービス量実績	人	38	107	92	97	83	109	79	6	7	618
	見込量と実績の差	人	△ 9	△ 50	△ 20	44	17	△ 7	△ 47	△ 2	△ 2	△ 76

注) 別表2については、現時点における障害保健福祉圏域のサービス見込量と実績およびサービスの提供体制について、参考にお示しするものです。

- 1 現状の事業所数は、平成29年5月1日現在
- 2 サービス見込量は、みえ障がい者共生社会づくりプラン（平成27年度～平成29年度）における平成29年度のサービス見込量（1か月あたり）
- 3 サービス量実績は、平成28年度（平成28年4月～平成29年2月）の1か月あたりの平均
- 4 生活介護と就労移行支援の現状（事業所数）は、障害者支援施設を含む。
- 5 短期入所の現状（事業所数）は、空床利用型を除く。

平成30年度社会福祉施設等整備方針（少子化対策課所管施設）

課名〔少子化対策課〕

1 整備方針策定等の考え方

- ・健全な遊びを通して、子どもの生活の安定と子どもの能力の発達を援助していく拠点施設である児童館を整備するにあたり、地域のニーズに応じた子ども・子育て環境の向上のための施設整備を推進する。
- ・耐震化対策や老朽化に対する大規模修繕等を推進するとともに、防犯対策の強化を図る。

2 整備方針

施設種別	圏域	現状	課題	平成30年度整備方針
児童館	全県	大型児童館 1館 小型児童館 31館 児童センター 14館 計 46館 (12市6町) (H29.5.1現在)	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化対策等がなされていない児童館について、対策が必要である。 ・児童の健全育成活動の拠点である児童館のない地域がある。 ・児童館の中で、放課後児童クラブを行うことは、様々な利点があるが、放課後児童クラブを行っている児童館は多くない。 	<p>国の次世代育成支援対策施設整備交付金の交付を市町が受けることを条件として、市町や社会福祉法人が行う事業に関して、市町に対して補助を行うことにより、児童館の整備を行う。</p> <p>優先順位は以下のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 既存の児童館の大規模修繕のうち、耐震改修工事等を含むもの <ol style="list-style-type: none"> (1) 放課後児童クラブ室のある児童館 (2) 放課後児童クラブ室のない児童館 2 児童館の新設 <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童館のない市町における新たな児童館の創設のために、施設を整備するものを優先する。

施設種別	圏域	現状	課題	平成30年度整備方針
				ア 放課後児童クラブ室を設置する場合 イ 放課後児童クラブ室を設置しない場合 (2) 児童館のある市町における新たな児童館の創設のために、施設を整備するもの ア 放課後児童クラブ室を設置する場合 イ 放課後児童クラブ室を設置しない場合 3 既存の児童館を拡張・改築する整備 (1) 放課後児童クラブ室を設置するための拡張・改築 (2) 放課後児童クラブ室のある児童館の拡張・改築 (3) 放課後児童クラブ室のない児童館の拡張・改築 4 その他の整備

平成30年度社会福祉施設等整備方針（子育て支援課 保育サービス・幼保連携班所管施設）

課名〔子育て支援課〕

1 整備方針策定等の考え方

- ・地域のニーズに応じた子育て環境の向上のための施設整備を推進する。
- ・現在の施設が利用できなくなり、整備が必要となる場合を優先する。

2 整備方針

施設種別	圏域	現 状	課 題	平成30年度整備方針
放課後児童クラブ室	全県	<p>放課後児童クラブ数 360か所 (H28.5.1現在)</p> <p>※H29.5.1現在の数値 については、今後調査を 行います。</p>	<p>1 放課後子ども総合プランを推進するために、市町の福祉部局と教育委員会が連携を密にして、放課後児童対策に取り組む必要がある。</p> <p>2 小学校児童についての保育需要があるにもかかわらず、放課後児童クラブが存在しない地域がある。</p> <p>3 実施施設の中には、老朽化の進んでいるものもある。</p>	<p>「放課後児童クラブ運営指針」による、支援の単位あたりおおむね40人以下の整備を推進することとし、放課後子ども総合プランにおける市町の運営委員会等の調整を経た次の整備（創設・改築）を行う。</p> <p>以下、1、2は同順位とし、3、4、5、6、の順に優先順位を付けることとする。</p> <p>1 小学校の統廃合による整備</p> <p>2 借家等で実施しているが、使用不能になる場合の整備</p> <p>3 地震対策あるいは津波対策等のための整備</p> <p>4 放課後児童クラブ未設置小学校区における整備</p> <p>5 放課後子ども総合プランの推進のため、放課後子ども教室と一体となって実施するための整備</p> <p>6 1から5の理由以外での整備</p>

平成30年度社会福祉施設等整備方針（子育て支援課 子育て家庭支援班・要保護児童支援班所管施設）

課名〔子育て支援課〕

1 整備方針策定等の考え方

平成26年度に策定した三重県家庭的養護推進計画に基づき、社会的養護を必要とする子どもが家庭的な養育環境の中で豊かに育つことができる環境の整備をめざして、本体施設のオールユニット化やグループホームの設置、地域支援の充実を図るための施設整備を推進する。

2 整備方針

施設種別	圏域	現 状	課 題	平成30年度整備方針
児童養護施設	全県	施設数 12施設 公立 1施設 民間 11施設 (平成29年4月1日現在)	1 施設における小規模ケア化・地域分散化の推進が求められている。	1 小規模ケア化・地域分散化 施設の新設・改築にあたっては、小規模ケア化・地域分散化するための整備や、本体施設を小規模グループケアの構造にする、または、小規模グループケアの構造に容易に転換できる構造とする施設整備を優先する。
乳児院	全県	施設数 3施設 公立 1施設 民間 2施設 (平成29年4月1日現在)	2 昭和40～50年代前半にかけて鉄筋化等の整備をした施設の老朽化が進んでいる。	2 老朽化による増改築修繕 耐用年数等を考慮した老朽度点数により著しく老朽化した施設を優先する。
母子生活支援施設	全県	施設数 5施設 公立 2施設 民間 3施設 (平成29年4月1日現在)	1 施設の老朽化による大規模修繕等の必要性が高まっている。 2 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）への対応が求められている。	1 老朽化による増改築修繕（耐震工事含む） 耐用年数等を考慮した老朽度点数により著しく老朽化した施設を優先する。 2 DV防止法対応 居室拡大や室数増加を図る施設整備を優先する。

施設種別	圏域	現 状	課 題	平成30年度整備方針
児童家庭支援センター	全県	施設数 3施設 公立 1施設 民間 2施設 (平成29年4月1日現在)	児童養護施設において、地域からの相談に応じたり、指導等を行う児童家庭支援センター設置の必要性が高まっている。	1 児童相談所単位での設置を進めることとし、児童家庭支援センター未設置管内での整備を優先する。